

7.2 ミッション側

7.2.1 ミッションオイル

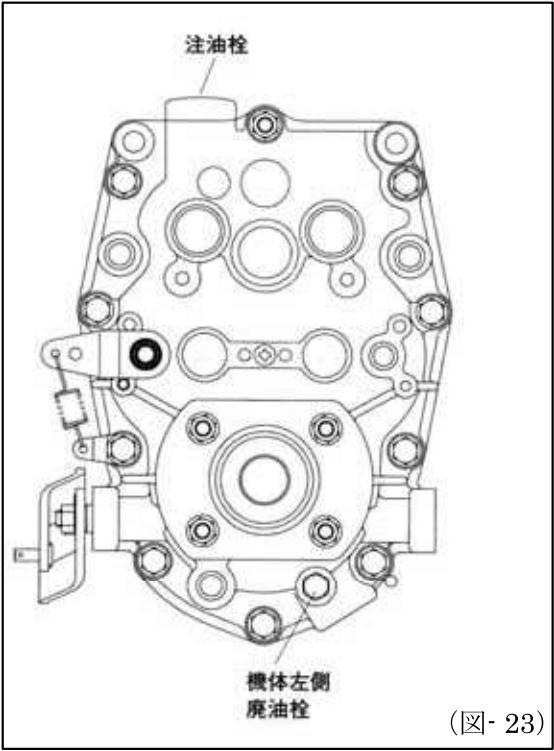
初回は 50 時間で交換してください。以降 50 時間
または、2 年毎のどちらか短い時間で交換をして
ください。

オイル交換方法

本機を安定した場所に水平に置いてください。
廃油栓と注油栓を外し、ミッション内のオイルを
すべて抜いてください。抜き終わりましたら、廃
油栓を元の状態にしめ付けてください。注油口よ
り静かにミッションオイルを規定量入れてくださ
い。オイルを入れ終わった後に、注油栓を元の様
に取り付けてください。(図-23)

油量:1.0 リットル

種類: ミッションオイル#90



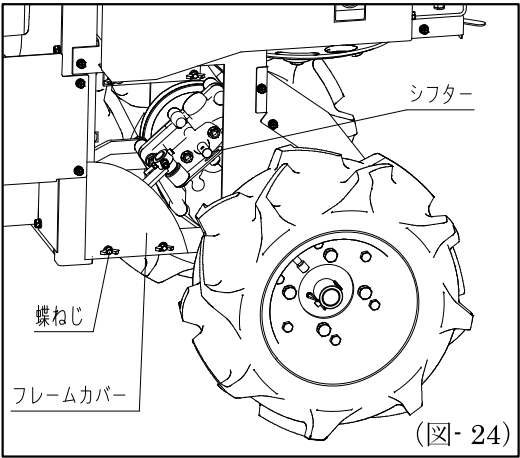
重要	ミッションオイルの廃油処理は各自治体の指示に従ってください。
----	--------------------------------

7.2.2 ミッションの掃除

ミッションに肥料などが付着している場合、故障の
原因になります。作業後には、⑨フレームカバーを
取り外し、必ずミッションに付着した肥料などを取
り除いてください。特に、シフター部分に肥料が付
着しないようにしてください。(図-24)


7.2.3 その他

- (1) 損傷やねじのゆるみ、変形などが無い点検をし
てください。
- (2) オイルの漏れ等が無い点検をしてください。



7.3 エンジン側

 危険	<ul style="list-style-type: none">エンジンの点検・整備は、安全作業『火気厳禁』の項に従い行ってください。
---	---

 警告	<ul style="list-style-type: none">エンジンの点検・整備はエンジンが冷えてから行ってください。火傷をする恐れがあります。異常がある場合はただちに販売店へ修理を依頼してください。
---	---

重要	エンジン取扱説明書も合わせてお読みください。
----	------------------------

MMB-103

7.3.1 エンジンオイル

初回は 25 時間目で交換してください。

交換方法

エンジンが暖かいうちに⑧オイルドレンプラグからオイルを抜き取り、新しいオイルと交換してください。

油量:0.4 リットル

種類:エンジンオイル#30



警告

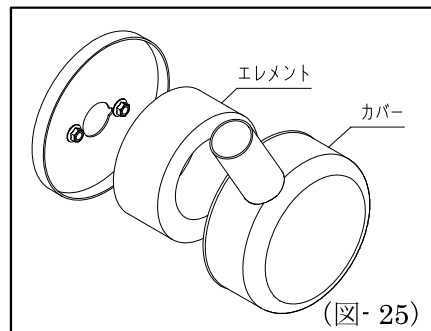
熱いオイルが体にかかると火傷する恐れがありますので十分注意してください。火傷をする恐れがあります。

重要

エンジンオイルの廃油処理は各自治体の指示に従ってください。

7.3.2 エアクリーナ

カバーを外し、エレメントを点検してください。点検後はカバーを確実に組付けてください。エレメントの汚れがひどいとき、およびオイル分がなく乾いているときは、白灯油で洗浄後エンジンオイルに浸し、滴下しない程度に振り切る、または絞ってください。(図-25)



7.3.3 点火プラグ

点火プラグは、電極やガイシ部分が汚れたり、カーボンが付着するため、定期的に清掃をしてください。

清掃後、電極スキマを 0.6～0.7mm に調整してください。交換時には、BP6HS を使用してください。(図-26)



重要

指定以外の点火プラグを使用しないでください。失火、始動不良の原因となります。

7.3.4 リコイルスターター

リコイルスターターに肥料などが付着している場合、故障の原因になります。作業後には、圧縮空気などを使用しリコイルスターターに付着した肥料などを取り除いてください。